

平成 28 年度事業計画

1 基本方針

(1) 自然環境の保全及び活用

名古屋市民御岳休暇村（以下「休暇村」という。）は、御嶽山の麓、自然環境に恵まれ、市民生活を支える水源の木曽川上流域に位置しています。

この市民の貴重な財産である広大な自然を保護し活用を図りながら地元と協働して事業を進めます。

(2) 自然体験や環境学習主体の事業運営

豊かな自然を活用した体験事業や環境学習プログラムを通じて、市民が自然に親しむことにより、心身のリフレッシュや健康増進を図るとともに青少年の健全育成を図ります。

(3) 利用促進並びに効率的な経営

自然体験企画等の充実及び効果的な広報の実施により利用の促進に努めるとともに業務委託の導入等により経費の削減を図り効率的な経営を行います。

2 事業の実施計画

(1) 公益目的事業

近年、環境に対する関心は非常に高くなり、また、余暇に対する考え方や価値観も大きく変化しています。

公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社（以下「公社」という。）では、恵まれた自然環境を活用して、休暇村を利用される方々に対して、自然体験や環境学習などの様々な事業を提供します。

ア 自然体験事業

休暇村敷地内のヒノキやカラマツなど50ヘクタールに及ぶ人工林の間伐・枝打ち・広葉樹の植樹などを地域や下流域の市民と協働で進める「市民の森づくり事業」を実施するほか、国・長野県の補助事業を活用して設置した「王滝百草の森」の整備を今後も地元王滝村の協力を得て進めるとともに、水資源涵養や地球温暖化防止（CO2削減）及び生物多様性など森林が果たす機能と重要性について学ぶことができる森林体験学習を行います。

また、地元王滝村の協力を得て、森林鉄道を活用した事業を行うほか、遊休農地を利用した農業体験や、木曽地域に昔から伝わる食べ物はじめ伝統文化の体験事業

を実施します。

イ 青少年健全育成事業

小・中学生を始め青少年が自然の中での集団生活や自然体験活動を通じて、思いやりや生命の大切さ、感謝の気持ちなど「生きる力」を支える「豊かな心」を育成することを目的とした青少年の健全育成事業を、大学生のボランティア「キャンプカウンセラー」及び「NPO法人ONTAKE」とともに進めます。

ウ 健康増進支援事業

森林浴や高地ウォーキング、薬膳料理の提供など休暇村の豊かな自然環境を活用したプログラムの提供により市民の健康増進を支援します。

(2) 収益事業

ア 施設貸与及び飲食販売事業

名古屋市から遠く離れた休暇村で行われる様々な体験活動等に参加するには宿泊が必要不可欠であるため、宿泊に伴う施設貸与や飲食提供を行うとともに土産物等販売を行います。

イ 旅客自動車運送事業

交通アクセスがよくない休暇村利用において、自家用自動車を持たない人や高齢者が体験活動に参加いただけるよう貸切バスによる名古屋・休暇村間の送迎を行います。

3 事業参加促進への取組

(1) 広報・PR

ア 若年層の利用促進の観点から、休暇村の施設、立地条件などの特性を活かし、ゼミ合宿やスポーツ・サークル合宿での利用促進に取り組みます。また、「おんたけこども村」事業を通じて培ってきた大学・大学生とのネットワークを活用してPRに努めます。

イ リピーター客の確保・増加の観点から、スケッチや撮影会等の企画ツアー参加者の作品展を名古屋市内で開催します。昨年6月の開催実績を踏まえ実施します。

ウ 自然の場を活用したチームビルディング（チームで協力して課題解決に取り組むことを通じて、協力し合うことへの理解促進及び一体感の醸成や人的ネットワークの形成などを図る）への関心の高まりを踏まえ、新人研修等、研修での利用促進を図ります。名古屋市に新人職員研修での利用を働きかけます。

エ 王滝村の観光魅力とあわせた集客を図るため、名古屋市、王滝村や地元観光施設

- 等と連携してスキーシーズン、グリーンシーズンなど焦点を絞った観光PRイベントを名古屋市内で開催します。昨年11月の開催実績を踏まえ実施します。
- オ 即時伝達性や若年層へのアピールを念頭にフェイスブックやブログ等SNSの活用やホームページの充実による利用促進を図ります。なお、ホームページについては予約システムの改善もあわせて行います。
- カ 名古屋市の協力を得て、東山動植物園春秋祭など名古屋市内で開催されるイベントに出展参加します。
- キ マスコミ等への報道を行います。（広報なごや、テレビ、ラジオ、新聞、旅行誌等への事業プランの案内や施設紹介などの記事提供）
- ク 事業案内パンフレットの名古屋市内町内会組回覧及び各区役所情報コーナーへの掲出を行います。
- ケ 名古屋市内各種団体に対して訪問営業活動を行います。（事業プランの案内や保養所契約を締結した団体への積極的な利用促進依頼）

(2) 事業の充実等

- ア 貸切バス運営のメリットを生かし名古屋発の体験企画メニューを充実します。
- イ 森林浴や温泉浴、高地効果・転地効果など休暇村の特異な立地条件を活用した滞在型の健康増進支援事業を充実します。
- ウ 自然環境や文化・歴史等を対象にした体験企画について、地元の有識者や技術継承者、農林業経験者などの協力を得ることにより参加者の満足度を一層高めます。
- エ 市民ニーズの多面的な把握など組織的なマーケティング活動を行います。
- オ 利用へのインセンティブとしてポイントカードなど利用特典付与制度を導入します。

4 事業利用施設の整備

- (1) 木材チップを活用した足腰の負担が軽減される遊歩道整備など、高齢者や障害者も安心して自然体験ができる環境づくりを進めます。
- (2) 森林浴や温泉浴などによる「憩いと癒し」の体感できる宿泊型体験施設として利用向上に向けた施設整備を進めます。

5 地域への貢献、連携

名古屋から離れた地にある休暇村で様々な事業を展開するには、王滝村を始め地元の協力が不可欠であるため、地元で行われる各種行事や奉仕活動への積極的な参加と、観光振興イベントへの協力を行うなど地域との信頼関係の構築に努めます。

- (1) 観光総合事務所やスキー場などが行う観光振興イベントへの参加協力
- (2) 地域の自然や文化、歴史、産業などの積極的な紹介と体験プログラム等の実施による相互交流
- (3) 地域の環境保全・整備事業への参加協力
- (4) 地域の奉仕活動への参加協力

6 環境保全への取り組み

市民の貴重な財産である休暇村の広大な自然の保護等環境保全に努めます。

- (1) 長野県林業総合センター及び森林管理署などによる技術指導や、林業経験者の協力を得て間伐・植樹・下草刈り・炭焼き等を行う市民の森づくり事業の実施
- (2) 信州省エネパトロール隊の提言に基づく、省エネ、温室効果ガスの削減など環境改善への取り組み
- (3) 廃棄物の発生抑制（リデュース）とリサイクルの推進

7 安全対策

(1) 施設の保全

ア 建物・機械設備等は、保守点検及び法定点検のほか日常点検を欠かさずに行い、性能の維持管理に努めるとともに利用者の安全確保に努めます。

イ 道路、遊歩道、橋梁、駐車場のほか村内敷地の日常点検を行い、適正かつ安全な状態を維持します。

(2) 事故、災害対策

ア 防火対策委員会・自衛消防組織による火災等災害の予防、防災設備の改善計画策定及び防災意識の高揚と啓発活動を実施します。

イ 危機管理マニュアルに基づき、事故や盗難、破壊等犯罪の発生の警戒、防止及び日常の保安警備を実施します。

ウ ノロウイルス等による感染症や食中毒防止、レジオネラ属菌対策など衛生管理を徹底します。

エ 貸切バスを始めとする自動車による事故の防止のため、車両の日常点検の実施と運行管理者及び整備管理者による安全な運行管理を行います。

オ 熊などによる事故の未然防止策を講じます。

(3) 個人情報の保護

公社が保有する情報に対して保護対策が十分か定期的に点検し、適切な保護対策

を講じます。

ア 個人情報に対する取扱いや職員の責務についての意識向上を図ります。

イ 個人情報が記載されている文書は、盗難、災害等による情報の漏えい、滅失又はき損を防止するため厳格な管理をします。

ウ 電子情報に対しては、人的情報保護対策及び技術的情報保護対策を講じ、情報の漏えい、滅失及びき損を防止するとともに、ネットワークや情報システム、コンピュータへの不正なソフトウェアの侵入、感染又は不正なアクセス行為を防止するための措置を講じます。

8 職員の資質向上

- (1) 市民が自然の中で行うさまざまな体験活動や森林資源・自然環境を活用した健康増進の支援を行うために必要な各種資格等の取得に努めるとともに、知識・技術の向上研修や業務研修を実施します。
- (2) 市民生活を支える水源の木曾川上流域に位置する休暇村の自然環境を保護するため、森林整備や自然環境保全の知識や技術の取得及び向上研修を実施します。

9 御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取組み

昨年、王滝口登山道の入山可能地域は7合目、田の原天然公園の遥拝所まで緩和され、気象庁が噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き下げ、入山規制を山頂火口から1kmの範囲で縮小したものの、依然として山頂までは入れない状況が続いており、こうした状況はしばらく続くものとみられております。また、風評による影響もいまだに払拭することができない状況であり、利用状況には一定の影響があるものと考えられます。

引き続き、休暇村に安心安全に滞在できることをPRするとともに、27年度に実施したPR活動の実績も踏まえ、また、名古屋市や王滝村等と連携しながら、効果的なPRに努めることにより、噴火による影響を最小限に食い止めるだけでなく、さらなる利用者増を図ることができるよう努力していきます。

(資料)

平成28年度 公益目的事業

1 主催事業

主催事業回数 166回、 延べ参加人員 20,470人

(1) 自然体験事業

実施回数 56回、延べ参加人員 3,100人

事業名	回数	人員	実施時期
間伐、植樹、下草刈りなど水源の森づくり	3	300	5, 9, 10月
親子で楽しむ森林学習	5	250	6～8月
野生生物・昆虫等観察会・標本づくり	10	350	7, 8月
自然体験登山・トレッキング	22	1,120	4～12, 2, 3月
星座教室、特別観望会	4	330	5, 8, 10, 12月
農業、里山、山村体験	3	150	4, 11月
森のコンサート	2	200	6, 10月
スケッチ・写真撮影会	7	400	5, 6, 10, 11, 1, 2月
合計	56	3,100	

※ 野生生物・昆虫等観察会のうち、8回250人は青少年健全育成（おんたけこども村キャンプ）の参加者を対象に実施する。

(2) 青少年健全育成事業

実施回数 40回、延べ参加人員 6,500人

事業名	回数	人員	実施時期
おんたけこども村キャンプ	32	5,760	7, 8, 9月
おんたけこども村スターウォッチング	1	100	11月
おんたけこども村雪の学校(スキー・自然体験)	3	440	12, 3月
親子自然体験登山・スノーハイキング・スキー	4	200	7, 1～3月
合計	40	6,500	

(3) 健康増進支援事業

実施回数 70回、延べ参加人員 4,170人

事業名	回数	人員	実施時期
健康増進ウォーキング	39	2,450	4～7,9～11月
シニアスキー教室・健康増進スノーウォーク	23	1,400	12～3月
山菜・茸採り体験リフレッシュプラン	4	200	6,10月
山野草・薬草観察	4	120	6,9月
合計	70	4,170	

(4) 体験館等の運営

参加人員 6,700人

事業名	人員	実施時期
食の体験館	120	通年
木工・工芸体験館	80	〃
天文館	3,400	〃
クライミング	300	〃
間伐材を利用した木工体験出前講座	2,800	〃
合計	6,700	

2 支援事業

支援事業件数 655件 人員 12,060人

事業名	件数	人員	実施時期
野外活動・キャンプ指導・青少年健全育成	228	5,780	6～9月
環境保全・環境学習・体験学習	9	450	通年
登山・スキー・スノーシュー、スポーツ支援	306	3,440	〃
自然観察（天文・地質・気象）・植物観察	31	1,090	〃
森林浴・健康ウォーク	65	620	〃
絵画・写真・地域文化	16	680	〃
合計	655	12,060	